



入園や入学にむけて、少しずつ準備を進めていることと思います。お子さんも保護者の方も期待と不安が入り混じるような気持ちなのではないでしょうか。おもて面では、新生活への『支援をつなぐ』について特集します。

裏面では『“見える化”して、わかりやすく!』について特集します。日々の生活の参考になればと思います。

～支援をつなぐ～

支援をつなぐ = 情報共有

ご家族が気付いたお子さんの個性や行動の特徴、園で受けてきた支援方法を伝えることは、入園や入学など次のステージに移る時に貴重な情報になります。例えば「大きな音が苦手です。」「思い通りにならないと泣いて怒ることがあります。」などの情報は、初めてお子さんとかかわる先生にとっては貴重です。

「まずはどれだけできるか、様子を見たい」、「先生に先入観を持たれたくない」などの理由で、お子さんの苦手なことを伝えることをためらったり迷ったりする保護者の方は少なくありません。

伝えようか迷った時には、お子さんが困ってしまう場面を減らすことを第一に考えてみましょう。

困る場面が減ると、自信をもって生活が送れるようになります。先生にほめられたり友達に認められたりすることが増え、自己肯定感が育まれ、新しい課題に対しても、挑戦してみようという気持ちをもつことができるようになります。

園や学校と家庭が情報共有することが、お子さんが笑顔で楽しく生活するための第一歩になります。

どんなふうに伝える？

園や学校の先生に伝える時には、苦手なことだけではなく、得意なことや好きなことも合わせて伝えましょう。例えば、「落ち着きがないんです。」と伝えるだけではなく、「時計の数字が読めるので、『長い針が〇になったら、外で遊べるよ』と見通しを伝えていただければ落ち着けます。」と、先生がお子さんとかかわる時のヒントになるようなことを具体的に伝えてください。お子さんが安心して過ごせる環境の準備や活動に参加できるような工夫をしてもらうことにつながります。

先生との間でどのような支援が可能なのかを十分に話し合い、お子さんが混乱しないよう、家庭と園や学校で統一された支援をすることが大切です。

お子さんも保護者も安心して毎日をすごすために、支援をつなぎましょう。

機関紙『ひよこのみずあび』は
足立区（公式）ホームページ（<http://www.city.adachi.tokyo.jp/>）
幼児発達支援室ひよこ（障がい福祉センターあしすと通所事業）
にアクセスすると掲載されています。



ビューティフル
ウィンドウズ

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

“見える化”して、わかりやすく！

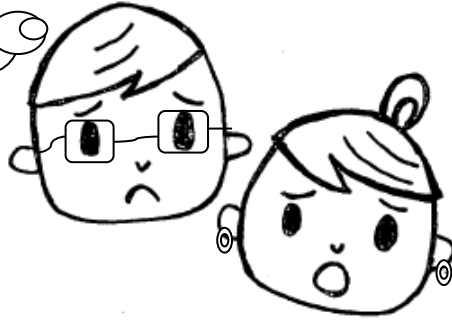
こんな悩みありませんか？

うちの子は、毎日同じ物をカバンに入れるだけなのに、支度にいつも時間がかかって、イライラします。

なぜ？

もしかしたら…

- 毎日、手順を変えてしまうため覚えにくい。
- 大人が支度に必要な手順を一度にたくさん伝えている。



うちの子は、公園から帰ろうとすると嫌がって怒ります。もう公園には連れて行きたくないです。

なぜ？

もしかしたら…

- 遊びに夢中になり、切り替えられない。
- 次にどこに行くのかがわからず不安。

原因を探ると、今までとは違う対応が取れるかもしれません。

☆言葉で伝えるだけではなく、写真を活用しましょう。

- よく行く場所（公園やスーパーなど）や家の写真があれば、行き先を伝える時に見せながら知らせることができます。
 - 身支度に必要な作業（手を洗う、トイレに行くなど）をしている場面を写真に撮り、お子さんが見えるところに手順通り掲示します。
- 写真を見せたり掲示したりすることで、目で見て確認できるだけでなく、次に何をすればいいのかをお子さん自身が気付けるようになっていきます。

☆終わりをわかりやすくしましょう。

- 「10まで数えたら終わり」「時計の長い針が5になったら終わり」のように、わかりやすく終わりを伝えましょう。直前ではなく、少し前に予告をすることで、お子さんも心の準備ができ、次の行動に移るときにスムーズに応じられるようになっていきます。
- 楽しいことだけでなく、嫌なことも終わりを明確にすることで取り組みやすくなります。約束通りに終わることができたら、たくさんほめてあげてください。嫌なことも「10で終わり」と約束したら、「上手だからもう少し…」と延ばさず、ほめて終わりにすることが大切です。